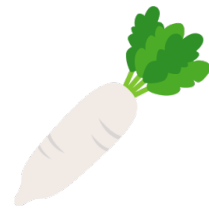


だいこん



発行日：令和5年7月7日

1. 卸売価格の動向

○119円/kg（7月4日）

➢ 平年比：118%

○7月の価格見通し

平年並みで推移

（農林水産省、東京都中央卸売市場）

2. 小売価格の動向

○169円/kg（6月全国平均）

➢ 前月比：87%、平年比：93%

➢ 東京：190円（1本）

➢ 大阪：207円（1本）

○特売店舗数／調査店舗数

➢ 東京：6/20（前月3/20）

➢ 大阪：3/10（前月2/10）

（機構調べ）

3. 家計消費動向

○265g/人（5月全国平均）

➢ 前月比：93%

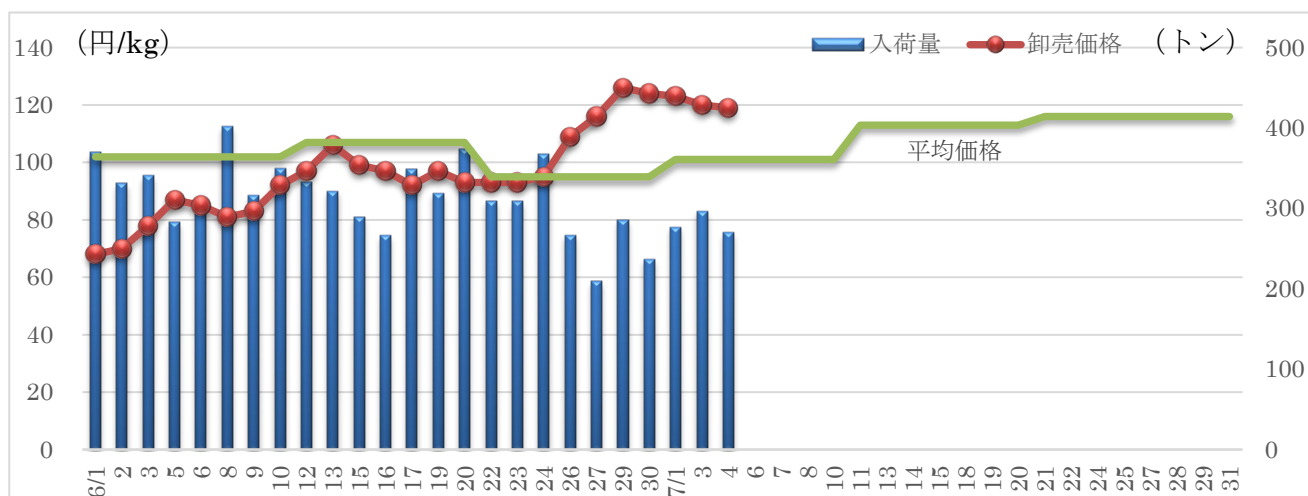
➢ 前年同月比：113%

○3,653g/人（2022年年間）

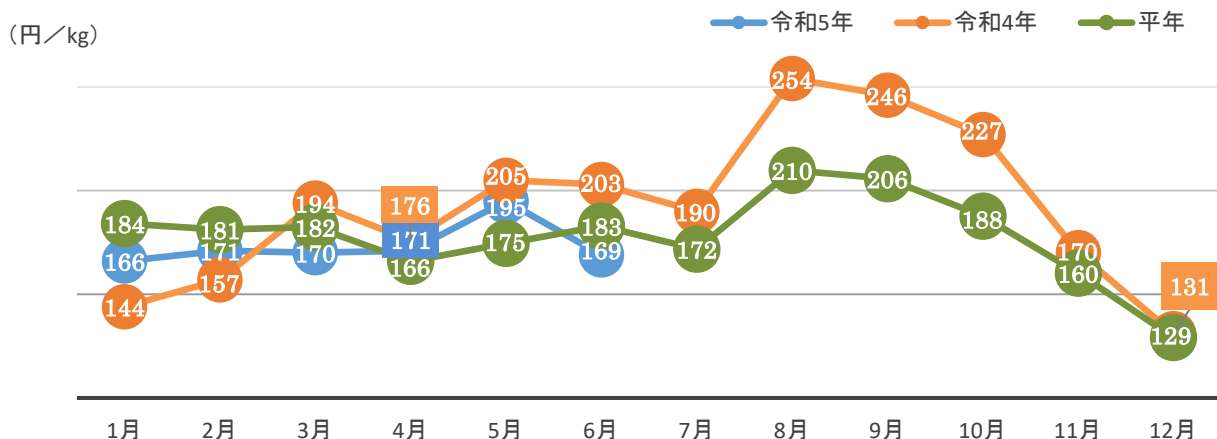
➢ 前年比：92%

（総務省統計局家計調査）

4. だいこんの卸売価格と入荷量の推移（東京都中央卸売市場）



5. だいこんの小売価格の推移



6. 主産地の生育・出荷動向

産地名	作付面積	作況	生育進度	出荷進度
青森県とうほく六ヶ所 (6/29)	前年並み	平年並み	平年並み	平年並み

※特記ない場合は平年比。()内は調査日。

(機構調べ)



青森県とうほく六ヶ所：圃場の様子

7. 向こう1ヶ月の気象情報 (7/01~7/28)

		週別の天候		
7/01~7/07		北・東・西日本では、平年と同様に曇りや雨の日が多いでしょう。 沖縄・奄美では、平年と同様に晴れの日が多いでしょう。		
7/08~7/14		北・東・西日本では、平年と同様に曇りや雨の日が多いでしょう。 沖縄・奄美では、平年と同様に晴れの日が多いでしょう。		
7/15~7/28		北日本と東日本日本海側では、平年と同様に曇りや雨の日が多いでしょう。 東日本太平洋側と西日本では、平年と同様に晴れの日が多いでしょう。 沖縄・奄美では、高気圧に覆われやすいため、平年に比べ晴れの日が多いでしょう。		
		平均気温 (1か月)	降水量 (1か月)	日照時間 (1か月)
北日本	日本海側	低10 並40 高50% 高い見込み	少20 並40 多40% 平年並か多い見込み	少40 並30 多30% ほぼ平年並の見込み
	太平洋側		少20 並40 多40% ほぼ平年並の見込み	少30 並40 多30% ほぼ平年並の見込み
東日本	日本海側	低20 並30 高50% 高い見込み	少20 並40 多40% 平年並か多い見込み	少40 並30 多30% ほぼ平年並の見込み
	太平洋側		少20 並40 多40% 平年並か多い見込み	少40 並30 多30% ほぼ平年並の見込み
西日本	日本海側	低30 並30 高40% ほぼ平年並の見込み	少20 並40 多40% 平年並か多い見込み	少40 並30 多30% ほぼ平年並の見込み
	太平洋側		少20 並40 多40% 平年並か多い見込み	少40 並30 多30% ほぼ平年並の見込み

(気象庁1カ月予報)

8. 輸入動向 (生鮮その他根菜類) ※にんじん・かぶ・ごぼうは除く

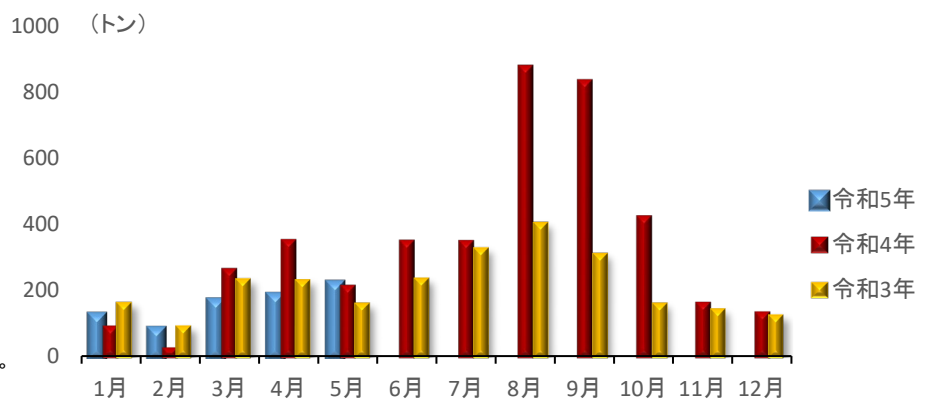
○218トン (5月輸入量)

➤ 前年同月比: 102%

○輸入先国ベスト3

- 1位 中国 203トン
- 2位 オーストラリア 13トン
- 3位 オランダ 1トン

※平成30年4月より税番改正があったため平年比なし。
(財務省貿易統計)



9. 一口メモ

6月は、平年を下回っていた価格が、終盤の千葉産、茨城産などの中間地からの入荷が減少したことから上げ基調になったものの、後続の青森産の入荷が始まったことから入荷量が安定し、下旬には平年並みで落ち着きました

7月は、青森産、北海道産などは気温高で生育が順調なことから市場入荷量が増加し、価格は平年並みの見込みです。

本データは全てベジ探から入手できます。

詳細はベジ探をご覧ください。

ベジ探: <https://vegetan.alic.go.jp/>

<問い合わせ先>

農畜産業振興機構

野菜振興部 需給業務課

Tel:03-3583-9793